

**宮崎県内の文化芸術活動と
ネットワーク形成に関するアンケート調査
報告書
(抜粋版)**

**令和3年3月
アーツカウンシルみやざき**

目次

I 調査の概要.....	4
1. 調査の目的.....	4
2. 調査の方法.....	4
3. 調査の期間.....	4
4. 調査票の回収率.....	4
II 文化団体に対する調査の結果.....	5
問1 活動団体の基本情報.....	5
問2 貴団体において、困りごとはありますか？(または、ありましたか？).....	15
問3 今後、宮崎県内の文化芸術団体のつながり・ネットワークを強化することにより、「問2」の「困りごと」の解消、軽減に効果が期待できるものは何ですか？.....	22
問4 「アーツカウンシルみやざき」について.....	26

I 調査の概要

1. 調査の目的

宮崎県内の文化団体が抱えている課題や考え及び県内市町村の文化政策の状況や考えを把握し、アーツカウンシルみやぎが今後、宮崎県の芸術文化振興に向けた事業に取り組んでいくための基礎資料とすることを目的に調査を実施した。

2. 調査の方法

宮崎県内に活動拠点を置く文化団体(400団体)及び県内市町村(26市町村)に対して、郵送法で実施。

3. 調査の期間

令和3年3月10日～令和3年3月19日

4. 調査票の回収率

(1) 文化団体…48.3% (193団体／400団体)

(2) 市町村…69.2% (18市町村／26市町村)

Ⅱ 文化団体に対する調査の結果

問1 活動団体の基本情報

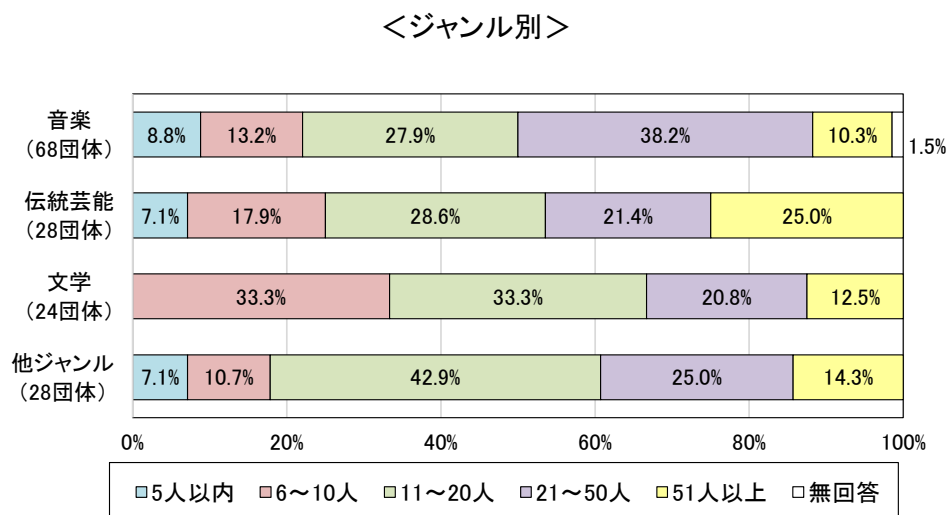
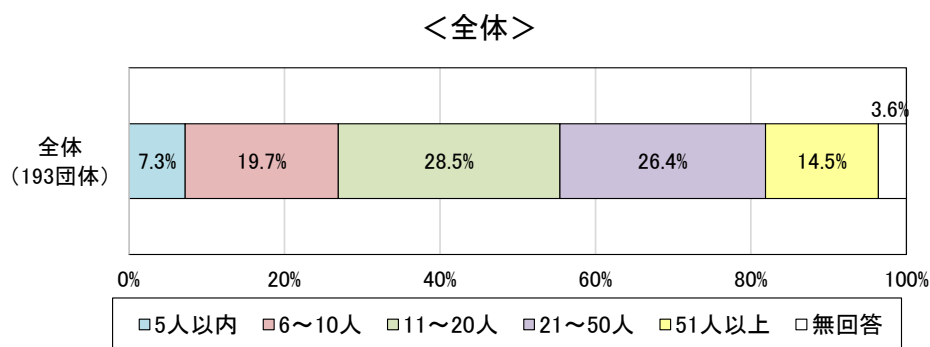
(1) 団体の構成員

① 規模別

全体では、「11～20人」の割合が28.5%で最も高く、次に「21～50人」(26.4%)となっている。

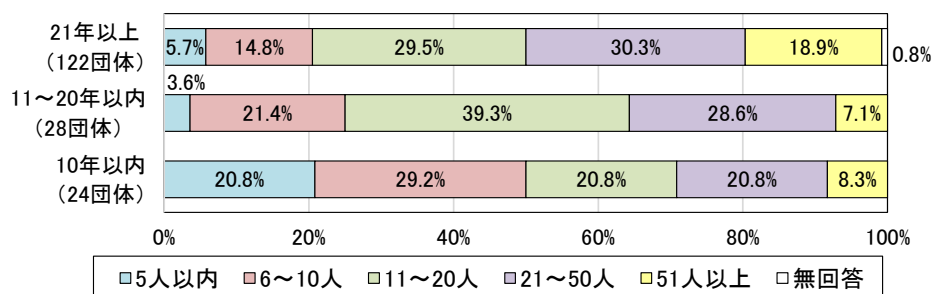
ジャンル別で見ると、「音楽」は「21～50人」の割合(38.2%)が最も高くなっている。

活動年数別で見ると、活動年数が長いほど規模(=団体の構成員の人数が多い)が大きくなる傾向を示している。



※ジャンルの分析のうち、「演劇」(8団体)、「ダンス」(8団体)、「中間支援(文化協会等)」(5団体)、「絵画」(4団体)、「書画」(2団体)、「神楽」(1団体)は、それぞれの団体数が少ないため、合計して「他ジャンル」としている。

<活動年数別>

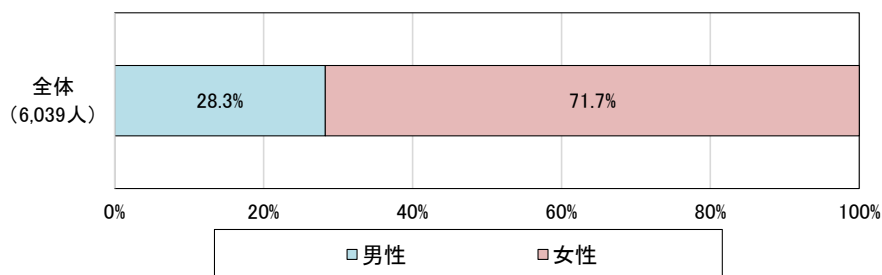


②性別(不明・無回答を除く)

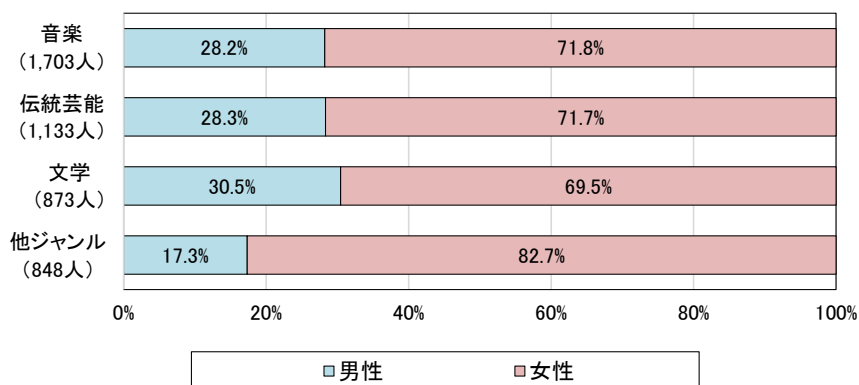
全体では、「女性」の割合は71.7%、「男性」は28.3%となっている。

ジャンル別でも「女性」の割合は、全体と同じ傾向を示している。その中で、「他ジャンル」では8割となっている。

<全体>



<ジャンル別>

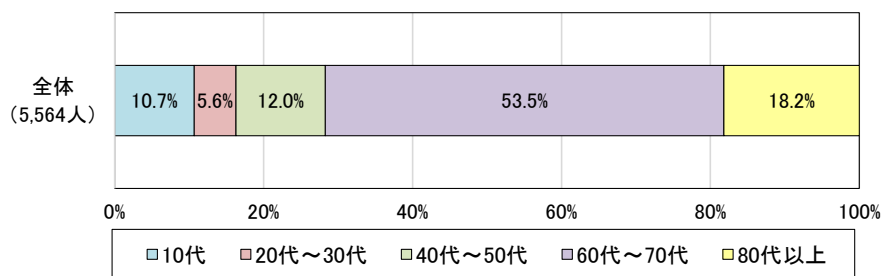


③年代別(不明・無回答を除く)

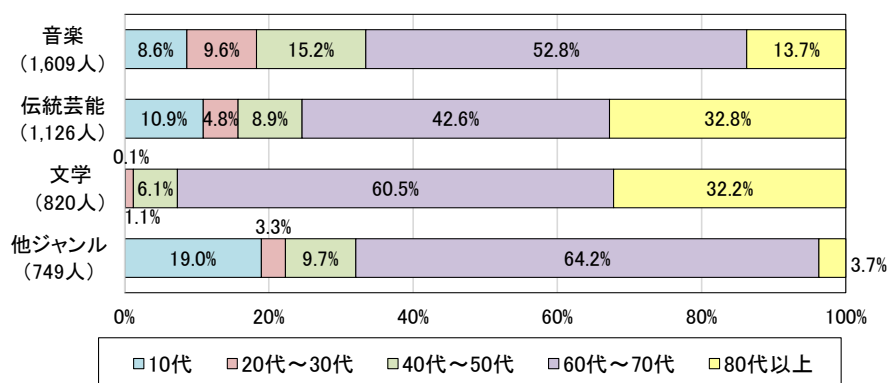
全体では、「60代～70代」の割合が53.5%で最も高く、次に「80代以上」が18.2%であり、「60代以上」の割合は71.7%となっている。

ジャンル別でも全体と概ね同じ傾向を示している。その中で「60代以上」の割合は「文学」は9割以上となっている。なお、「他ジャンル」では「10代」が19.0%で他よりも割合が高い。

<全体>



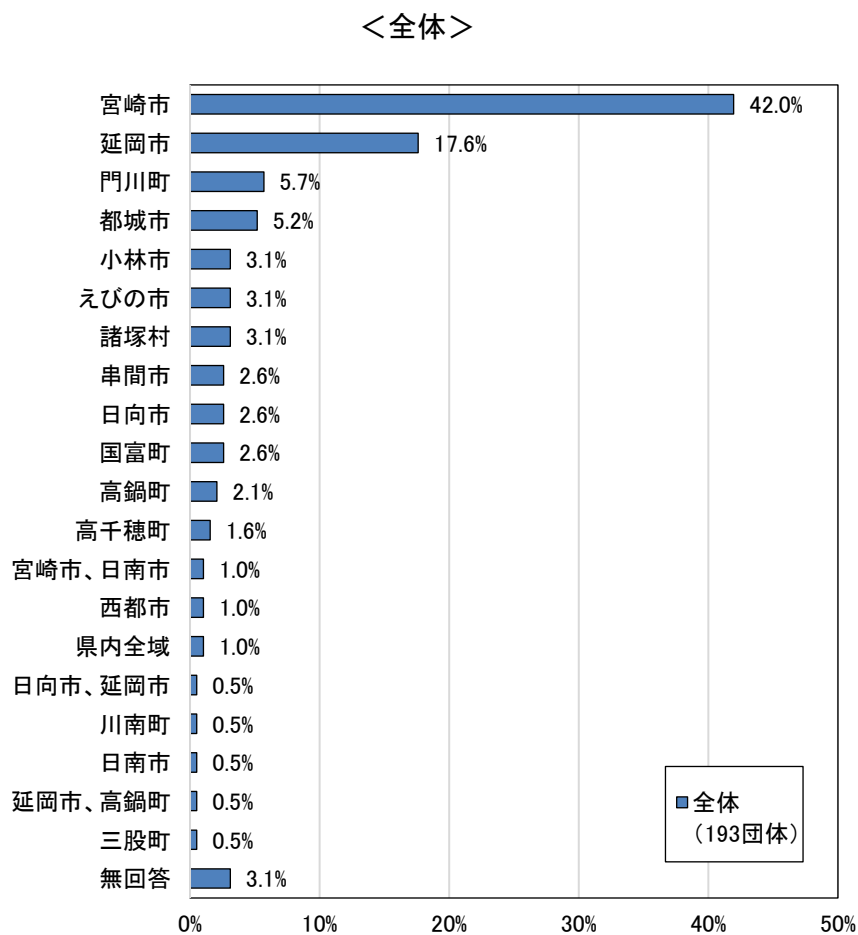
<ジャンル別>



(2)活動の場所

①拠点としている市町村

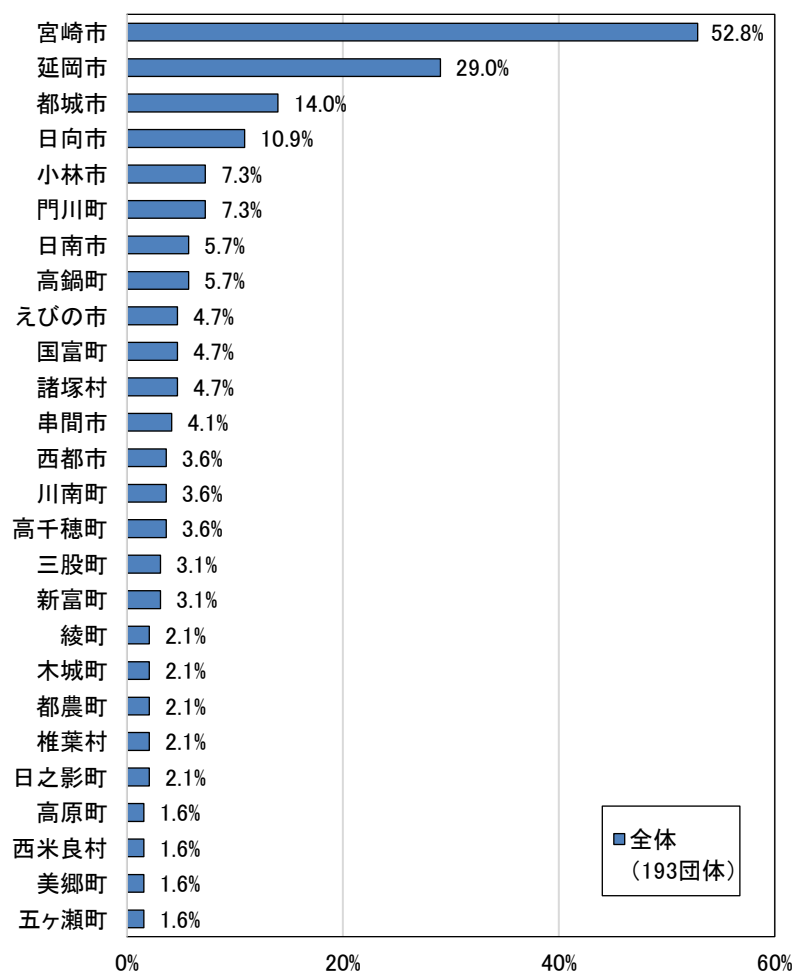
拠点としている市町村の上位は、第1位が「宮崎市」(42.0%)、第2位は「延岡市」(17.6%)、第3位は「門川町」(5.7%)となっている。



②活動している県内市町村(拠点を含む) (複数回答)

上位の3市町村は、第1位が「宮崎市」(52.8%)、第2位は「延岡市」(29.0%)、第3位は「都城市」(14.0%)となっている。

<全体>



③拠点と拠点以外での活動の状況

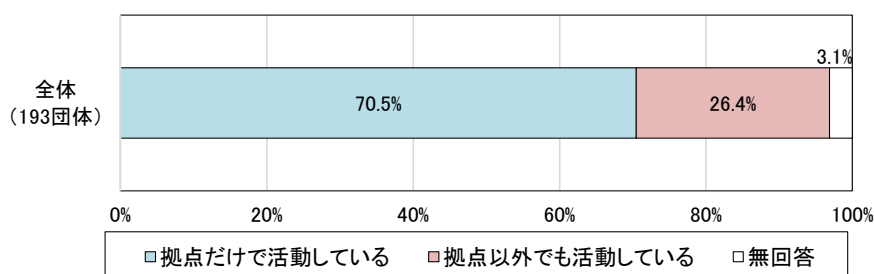
全体では、「拠点だけで活動している」の割合は70.5%であり、「拠点以外でも活動している」は26.4%となっている。

ジャンル別でも全体とほぼ同じ傾向を示している。その中で「伝統芸能」では「拠点以外でも活動している」の割合(35.7%)が高くなっている。

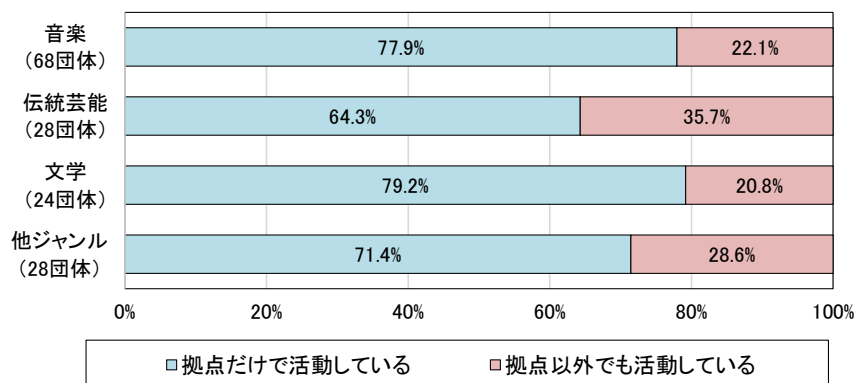
規模別でも全体とほぼ同じ傾向を示している。その中で「51人以上」の団体では、「拠点以外でも活動している」の割合(39.3%)が高くなっている。

活動年数別で見ると、活動年数が短い団体ほど「拠点以外でも活動している」割合が高い傾向にある。

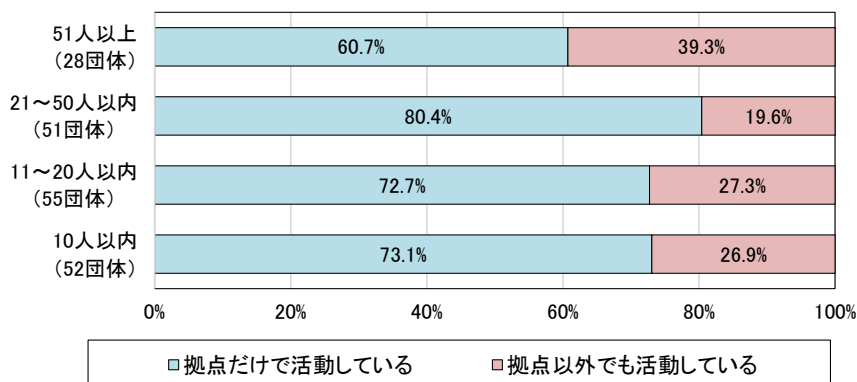
<全体>



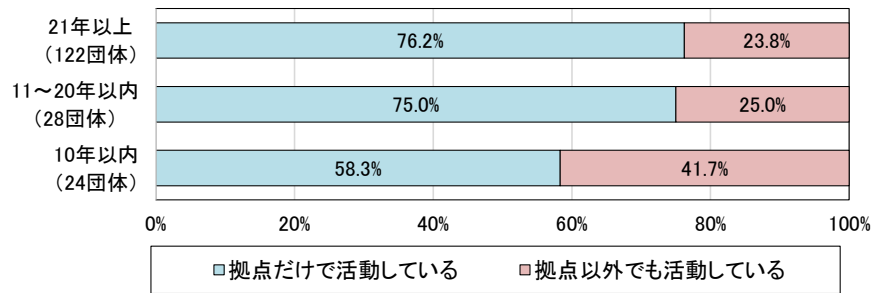
<ジャンル別>



<規模別>

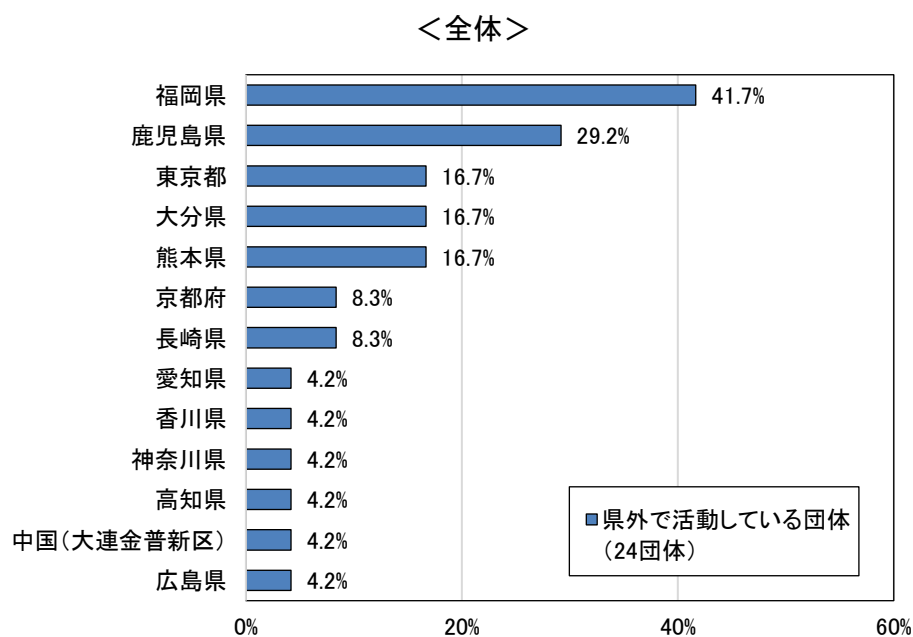


<活動年数別>



④活動している県外の都道府県（複数回答）

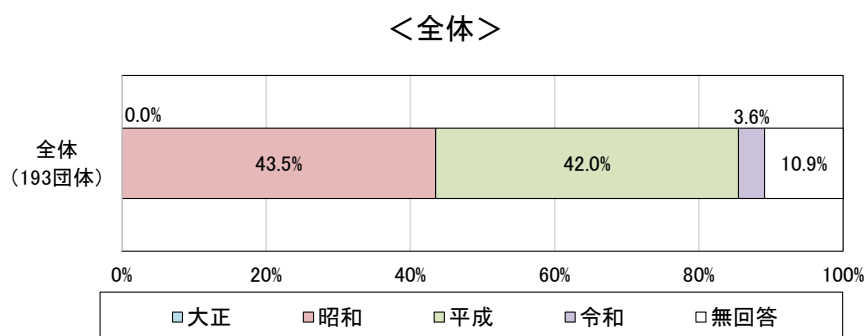
県外で活動している団体は24団体(12.4%…24団体／193団体)である。その中で、活動している都道府県は「福岡県」(41.7%)、「鹿児島県」(29.2%)、「東京都」「大分県」「熊本県」(ともに16.7%)の順になっている。



(3)活動を開始した時期、活動している年数

①活動を開始した時期

「昭和」の割合が46.2%、「平成」が41.4%、「令和」が4.1%となっている。



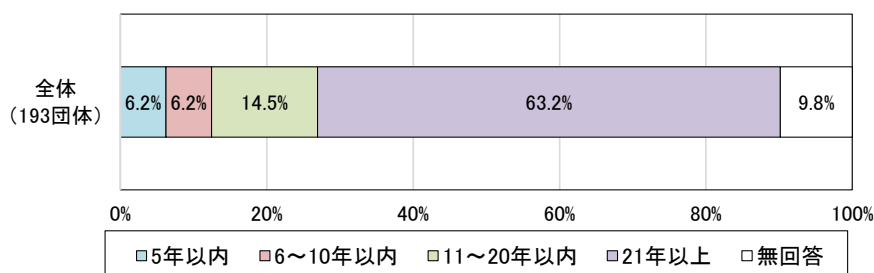
②活動している年数

全体では、「21年以上」の割合が63.2%で最も高い。次に「11～20年以内」が14.5%、「5年以内」と「6～10年以内」がそれぞれ6.2%となっている。

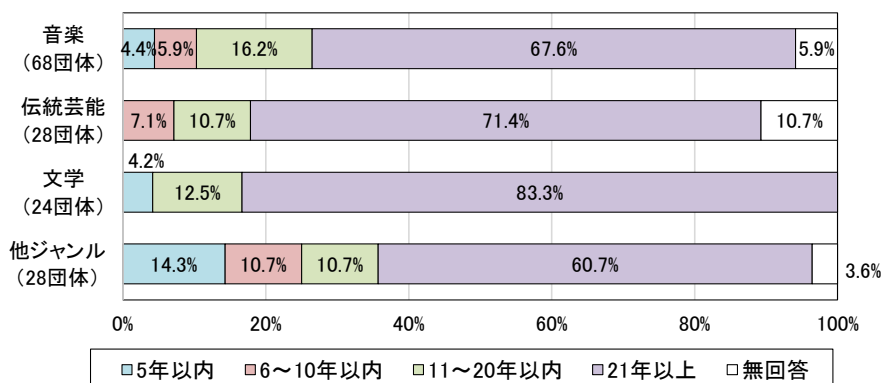
ジャンル別でみると、「他ジャンル」を除いたジャンルでは、「21年以上」の割合が約7～8割となっている。

規模別でみると、規模が大きいほど、活動している年数が長い団体が多い傾向にある。

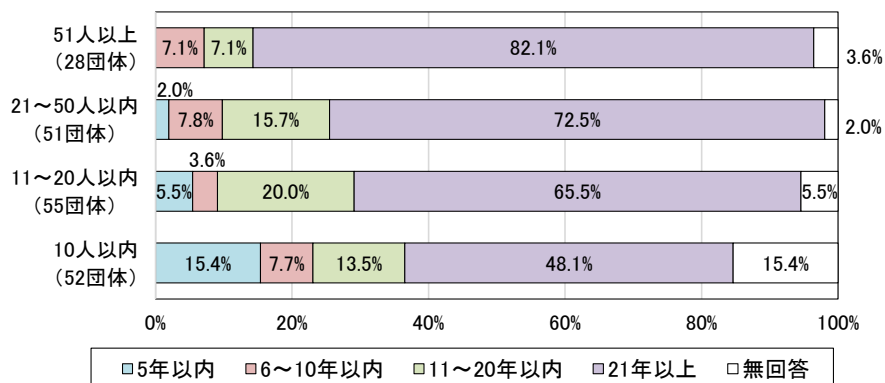
<全体>



<ジャンル別>

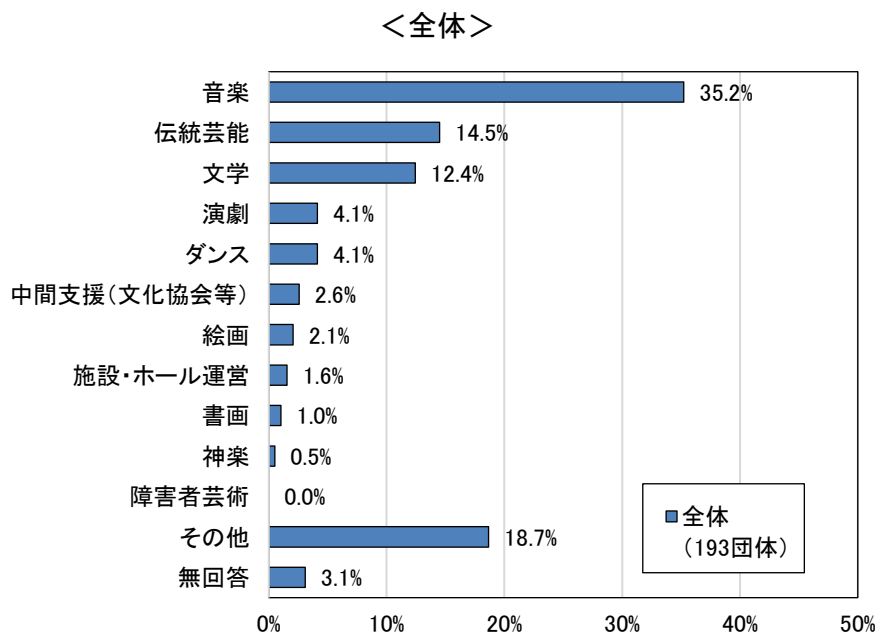


<規模別>



(3) 活動ジャンル(主なもの1つに○)

「その他」を除いた上位のジャンルは、第1位が「音楽」(35.2%)、第2位は「伝統芸能」(14.5%)、第3位は「文学」(12.4%)となっている。



問2 貴団体において、困りごとはありますか？（または、ありましたか？）

(1) 新型コロナウイルス「感染拡大の前」…令和2年2月以前（当てはまるもの1つに○）

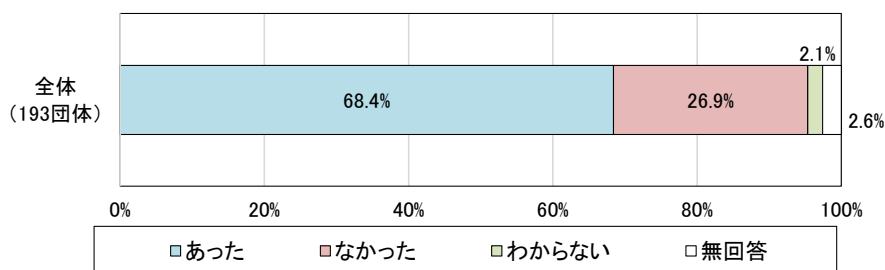
全体では、約7割の団体が「あった」（68.4%）と回答している。なお、「なかった」は26.9%となっている。

ジャンル別で見ると、「あった」の割合は、「音楽」と「伝統芸能」では全体（68.4%）を上回る割合（7割台）となっている。一方、「文学」と「他ジャンル」の割合は全体を下回っている。

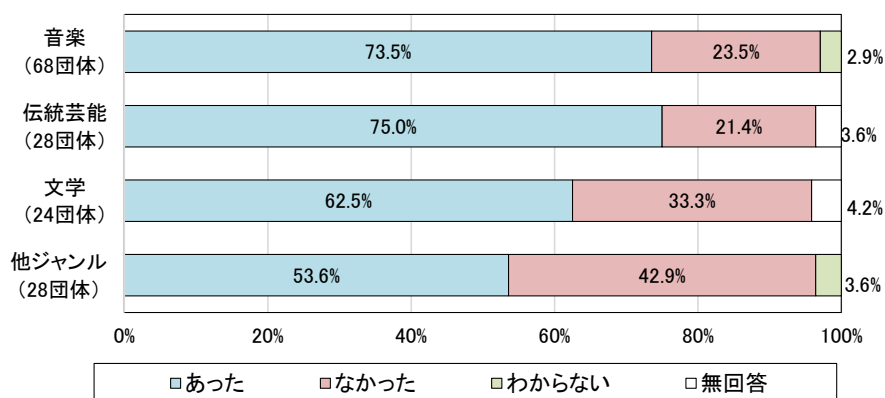
規模別で見ると、「あった」の割合は、「51人以上」は82.1%で最も高くなっている。

活動年数別で見ると、「あった」の割合は、活動年数が長いほど高い傾向にあり、「21年以上」では7割となっている。

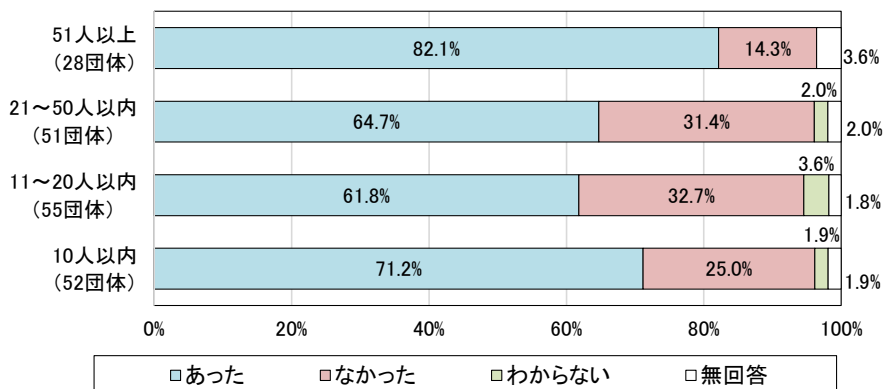
<全体>



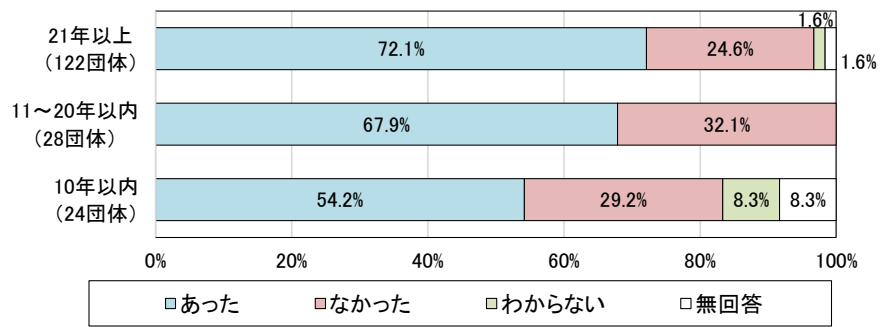
<ジャンル別>



<規模別>



<活動年数別>



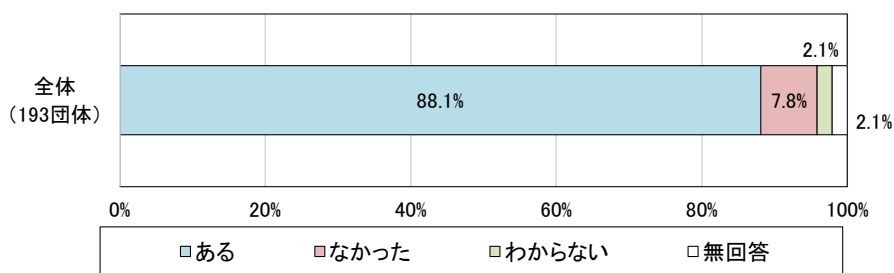
(2) 新型コロナウイルス「感染拡大の後」…令和2年2月以後（当てはまるもの1つに○）

全体では、「ある」の割合は88.1%となっている。

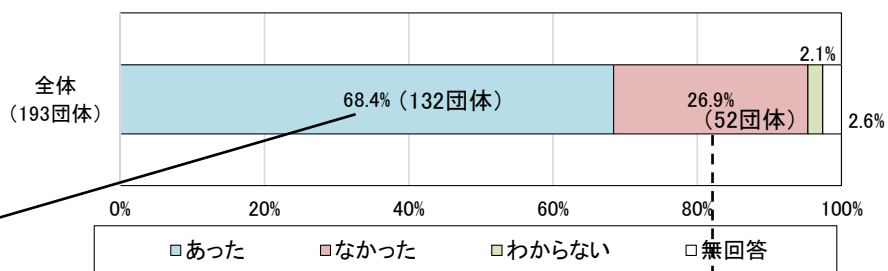
新型コロナウイルス「感染拡大前」に困りごとが「なかった」団体の7割以上が「感染拡大後」に困りごとが「ある」と回答している。

ジャンル別、規模別、活動年数別のいずれも全体とほぼ同じ傾向を示している。

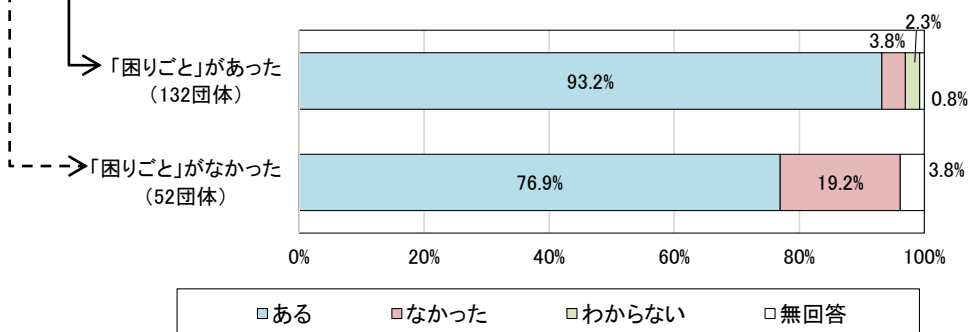
<全体>



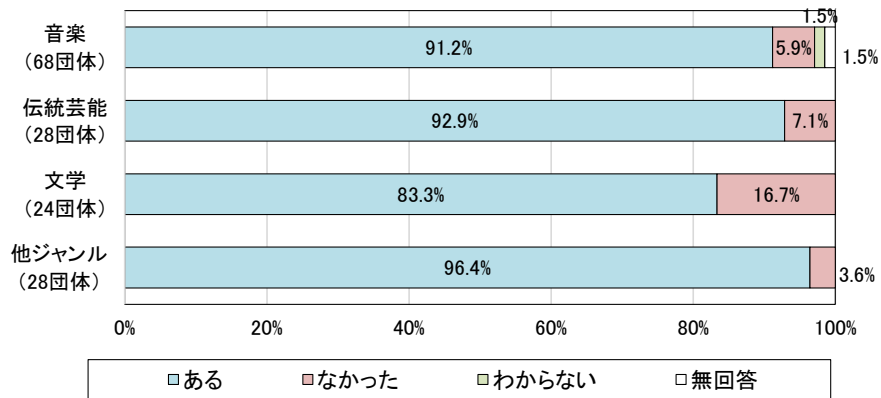
<新型コロナウイルス感染拡大前の「困りごと」の有無の状況（再掲P15）>



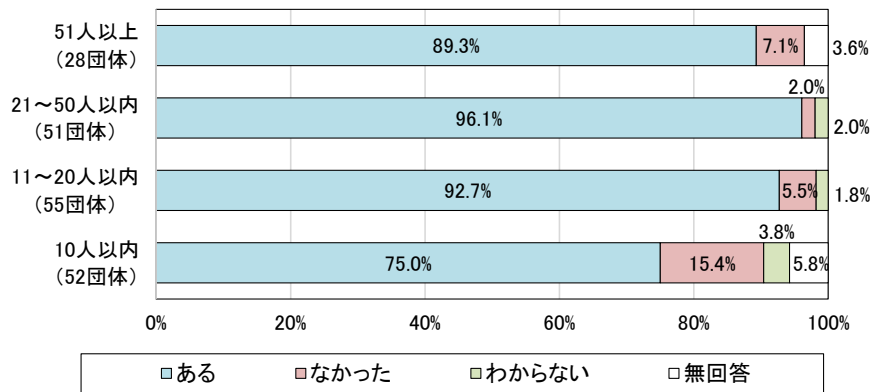
<新型コロナウイルス感染拡大前の「困りごと」の有無の状況別>



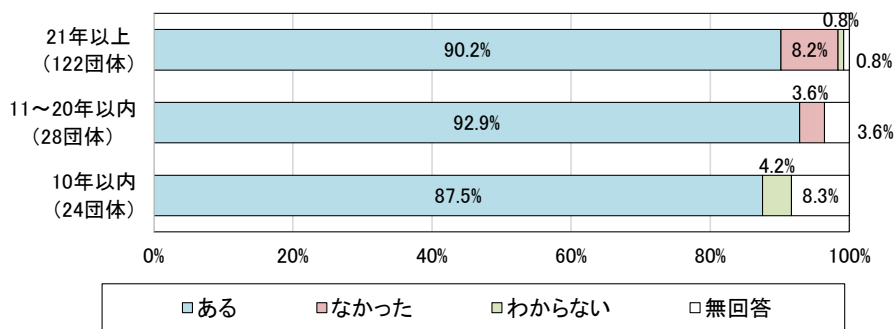
<ジャンル別>



<規模別>



<活動年数別>



SQ. 新型コロナウイルス感染拡大の「前(令和2年2月以前)」と「後(令和2年2月以後)」の「困りごと」の内容(主なもの3つ以内に○)

全体では、上位の3項目は、新型コロナウイルス「感染拡大前」の第1位は「メンバー・会員が少ない」(70.5%)、第2位は「活動資金が足りない」(37.9%)、第3位は「情報発信が十分にできていない」(20.5%)となっている。「感染拡大後」の第1位は「練習場所・発表する場所が減った」(70.0%)、第2位は「メンバー・会員が減った」(35.3%)、第3位は「活動内容が固定化、停滞してしまった」(25.3%)となっている。

「感染拡大前」と「後」で比較すると、「練習場所・発表する場所」が大きく増加している(49.5ポイント増)。

<活動年数別>

新型コロナウイルス感染拡大の「前」に「困りごと」があった団体(132団体)			新型コロナウイルス感染拡大の「後」に「困りごと」がある団体(170団体)		
1	メンバー・会員が少ない	70.5%	1	練習場所・発表する場所が減った	70.0%
2	活動資金が足りない	37.9%	2	メンバー・会員が減った	35.3%
3	情報発信が十分にできていない	20.5%	3	活動内容が固定化、停滞してしまった	25.3%
4	活動内容が固定化、停滞しており、会員の間に満足度が高まらなかった	20.5%	4	活動資金が足りなくなった	19.4%
5	練習場所・発表する場所が少ない	16.7%	5	情報発信が十分にできなくなった	12.4%
6	ファンやお客さんが少なかったり、客層の幅が狭い	12.9%	6	インターネットやSNS(ソーシャル・ネットワーキングサービス)の使い方がわからない	8.2%
7	インターネットやSNS(ソーシャル・ネットワーキングサービス)の使い方がわからない	9.1%	7	オンラインイベントやインターネット配信のやり方がわからない	7.1%
8	県内外の類似団体・グループの活動状況や、流行の内容等に関する情報の確保が難しい	8.3%	8	県内外の類似団体・グループの活動状況や、流行の内容等に関する情報の確保が難しい	7.1%
9	新聞やテレビといったメディアが取り上げてくれない	6.8%	9	ファンやお客さんが減ったり、客層の幅が狭くなった	5.3%
10	著作権・肖像権といった権利や法律のことがわからない	3.0%	10	新聞やテレビといったメディアが取り上げてくれない	1.2%
その他		9.1%	11	著作権・肖像権といった権利や法律のことがわからない	0.6%
			その他		14.1%

新型コロナウイルス「感染拡大前」には困りごとが「なかった」が、「感染拡大後」に困りごとが「ある」と回答した団体の第1位は、「練習場所・発表する場所が減った」(82.5%…33団体)となっている。

＜新型コロナウイルス「感染拡大前」に困りごとは「なかった」が、「感染拡大後」に「ある」と回答した団体＞(上位の3項目)

	第1位	第2位	第3位
新型コロナウイルス「感染拡大前」には「困りごと」は「なかった」が、「拡大後」に「困りごと」が「ある」団体(40団体)	練習場所・発表する場所が減った	活動内容が固定化、停滞してしまった	メンバー・会員が減った
	82.5%	25.0%	15.0%

ジャンル別でみると、いずれのジャンルも新型コロナウイルス「感染拡大前」の第1位は「メンバー・会員が少ない」であったが、「感染拡大後」は「練習場所・発表する場所が減った」が第1位となっている。

＜ジャンル別＞(上位の3項目)

	コロナウイルス感染拡大「前」			コロナウイルス感染拡大「後」		
	第1位	第2位	第3位	第1位	第2位	第3位
音楽 (コロナ前…50団体 コロナ後…62団体)	メンバー・会員が少ない	活動資金が足りない	練習場所・発表する場所が少ない	練習場所・発表する場所が減った	メンバー・会員が減った	活動内容が固定化、停滞してしまった
	70.0%	36.0%	20.0%	75.8%	41.9%	16.1%
伝統芸能 (コロナ前…21団体 コロナ後…26団体)	メンバー・会員が少ない	活動資金が足りない	練習場所・発表する場所が少ない	練習場所・発表する場所が減った	メンバー・会員が減った	活動資金が足りなくなった
	66.7%	47.6%	33.3%	73.1%	38.5%	30.8%
文学 (コロナ前…15団体 コロナ後…20団体)	メンバー・会員が少ない	活動内容が固定化、停滞しており、会員の間満足度が高まらなかった	活動資金が足りない	練習場所・発表する場所が減った	メンバー・会員が減った	-
	86.7%	40.0%	26.7%	60.0%	45.0%	-
他ジャンル (コロナ前…15団体 コロナ後…27団体)	メンバー・会員が少ない	活動資金が足りない	ファンやお客さんが少なかったり、客層の幅が狭い 活動内容が固定化、停滞しており、会員の間満足度が高まらなかった	練習場所・発表する場所が減った	活動内容が固定化、停滞してしまった	活動資金が足りなくなった
	60.0%	33.3%	26.7%	88.9%	33.3%	25.9%

規模別でみると、いずれの規模も新型コロナウイルス「感染拡大前」の第1位は「メンバー・会員が少ない」であったが、「感染拡大後」は「練習場所・発表する場所が減った」が第1位となっている。

＜規模別＞（上位の3項目）

	新型コロナウイルス感染拡大「前」			新型コロナウイルス感染拡大「後」		
	第1位	第2位	第3位	第1位	第2位	第3位
51人以上 （コロナ前…23団体 コロナ後…25団体）	メンバー・会員が少ない	活動資金が足りない	活動内容が固定化、停滞しており、会員の間に満足度が高まらなかった	練習場所・発表する場所が減った	活動内容が固定化、停滞してしまった	メンバー・会員が減った
	69.6%	43.5%	26.1%	72.0%	40.0%	36.0%
21～50人以内 （コロナ前…33団体 コロナ後…49団体）	メンバー・会員が少ない	活動資金が足りない	練習場所・発表する場所が少ない 活動内容が固定化、停滞しており、会員の間に満足度が高まらなかった	練習場所・発表する場所が減った	メンバー・会員が減った	活動資金が足りなくなった
	75.8%	51.5%	18.2%	69.4%	44.9%	26.5%
11～20人以内 （コロナ前…34団体 コロナ後…51団体）	メンバー・会員が少ない	活動資金が足りない	情報発信が十分にできていない	練習場所・発表する場所が減った	メンバー・会員が減った	活動内容が固定化、停滞してしまった
	55.9%	35.3%	26.5%	72.5%	27.5%	23.5%
10人以内 （コロナ前…37団体 コロナ後…39団体）	メンバー・会員が少ない	活動資金が足りない	情報発信が十分にできていない	練習場所・発表する場所が減った	メンバー・会員が減った	活動内容が固定化、停滞してしまった
	78.4%	29.7%	24.3%	66.7%	33.3%	20.5%

活動年数別でみると、いずれの活動年数も新型コロナウイルス「感染拡大前」の第1位は「メンバー・会員が少ない」であったが、「感染拡大後」は「練習場所・発表する場所が減った」が第1位となっている。

＜活動年数別＞（上位の3項目）

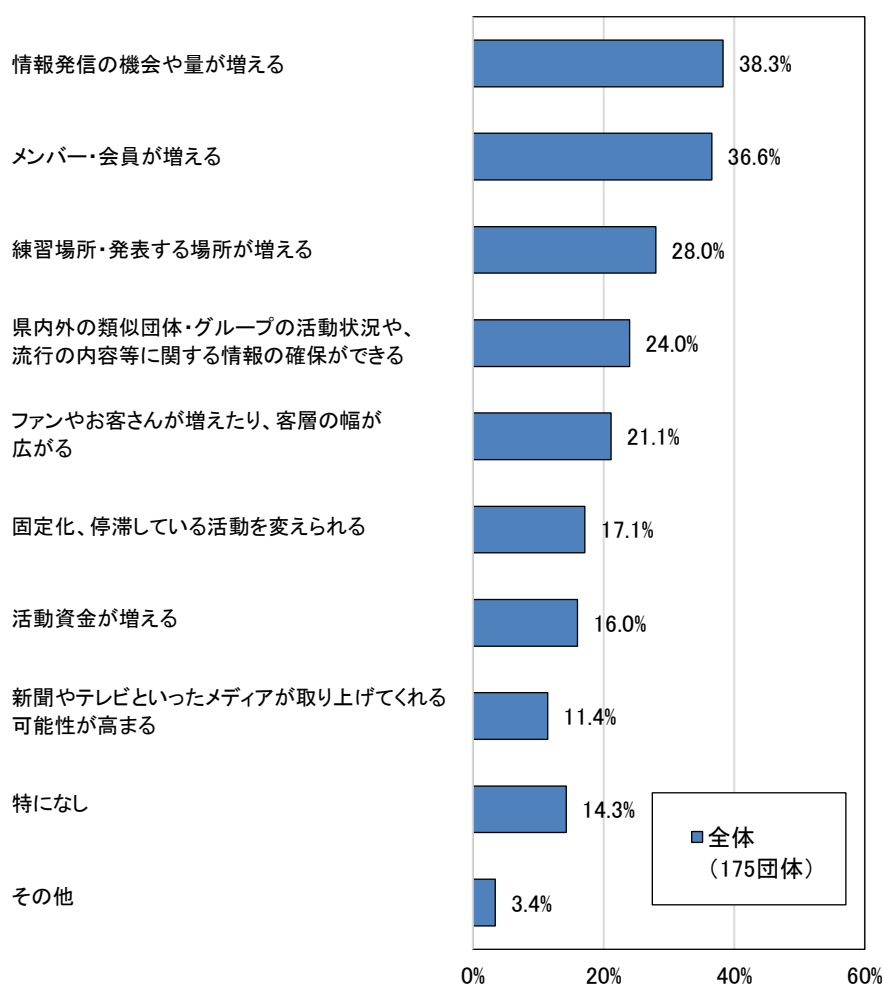
	新型コロナウイルス感染拡大「前」			新型コロナウイルス感染拡大「後」		
	第1位	第2位	第3位	第1位	第2位	第3位
21年以上 （コロナ前…88団体 コロナ後…110団体）	メンバー・会員が少ない	活動資金が足りない	活動内容が固定化、停滞しており、会員の間に満足度が高まらなかった	練習場所・発表する場所が減った	メンバー・会員が減った	活動内容が固定化、停滞してしまった
	70.5%	42.0%	22.7%	67.3%	40.0%	30.0%
11～20年以内 （コロナ前…19団体 コロナ後…26団体）	メンバー・会員が少ない	活動資金が足りない	情報発信が十分にできていない	練習場所・発表する場所が減った	メンバー・会員が減った	活動資金が足りなくなった
	63.2%	36.8%	26.3%	76.9%	30.8%	26.9%
11～20年以内 （コロナ前…13団体 コロナ後…21団体）	メンバー・会員が少ない	活動資金が足りない	情報発信が十分にできていない	練習場所・発表する場所が減った	情報発信が十分にできなくなった その他	-
	69.2%	38.5%	30.8%	76.2%	28.6%	-

問3 今後、宮崎県内の文化芸術団体のつながり・ネットワークを強化することにより、「問2」の「困りごと」の解消、軽減に効果が期待できるものは何ですか？

主に当てはまるもの3つ以内に○をしてください。

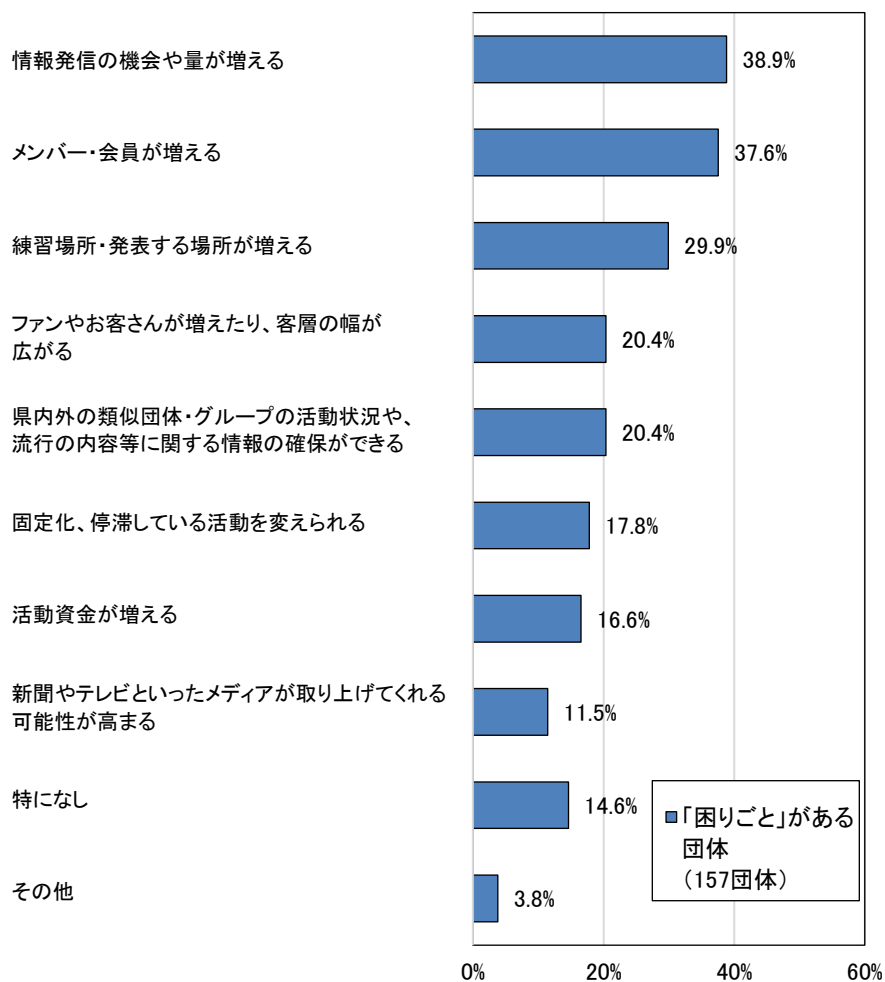
全体では、上位の項目は、第1位が「情報発信の機会や量が増える」(38.3%)、第2位は「メンバー・会員が増える」(36.6%)、第3位は「練習場所・発表する場所が増える」(28.0%)となっている。

<全体>



新型コロナウイルス感染拡大後に困りごとがある団体では、全体と同じになっている。

＜新型コロナウイルス感染拡大後に困りごとがある団体＞



ジャンル別でも、全体とほぼ同じになっている。

＜ジャンル別(コロナウイルス感染拡大後に「困りごと」がある団体)＞(上位の3項目)

	第1位	第2位	第3位
音楽 (60団体)	情報発信の機会や量が増える 40.0%	メンバー・会員が増える 31.7%	練習場所・発表する場所が増える 28.3%
伝統芸能 (26団体)	メンバー・会員が増える 53.8%	練習場所・発表する場所が増える ファンやお客さんが増えたり、客層の幅が広がる 38.5%	- -
文学 (19団体)	メンバー・会員が増える 73.7%	情報発信の機会や量が増える 36.8%	県内外の類似団体・グループの活動状況や、流行の内容等に関する情報の確保ができる 特になし 21.1%
他ジャンル (27団体)	練習場所・発表する場所が増える 48.1%	情報発信の機会や量が増える 37.0%	県内外の類似団体・グループの活動状況や、流行の内容等に関する情報の確保ができる 22.2%

規模別でも、全体とほぼ同じになっている。

＜規模別(コロナウイルス感染拡大後に「困りごと」がある団体)＞(上位の3項目)

	第1位	第2位	第3位
51人以上 (22団体)	情報発信の機会や量が増える 45.5%	メンバー・会員が増える 40.9%	固定化、停滞している活動を変えられる 27.3%
21～50人以内 (46団体)	メンバー・会員が増える 34.8%	情報発信の機会や量が増える 練習場所・発表する場所が増える 26.1%	- -
11～20人以内 (47団体)	メンバー・会員が増える 44.7%	情報発信の機会や量が増える 46.8%	練習場所・発表する場所が増える 29.8%
10人以内 (36団体)	情報発信の機会や量が増える 練習場所・発表する場所が増える 41.7%	メンバー・会員が増える 33.3%	- -

活動年数別でも、全体とほぼ同じになっている。

＜活動年数別(コロナウイルス感染拡大後に「困りごと」がある団体)＞(上位の3項目)

	第1位	第2位	第3位
21年以上 (100団体)	メンバー・会員が増える 43.0%	情報発信の機会や量が増える 36.0%	練習場所・発表する場所が増える 26.0%
11～20年以内 (26団体)	情報発信の機会や量が増える 53.8%	メンバー・会員が増える 38.5%	練習場所・発表する場所が増える 30.8%
10年以内 (20団体)	練習場所・発表する場所が増える 45.0%	情報発信の機会や量が増える 35.0%	活動資金が増える 30.0%

問4 宮崎県が公益財団法人宮崎県芸術文化協会に委託し、宮崎県の芸術文化専門機関として令和元年6月に「アーツカウンシルみやざき」を設立しました。

次の(1)～(3)について、ご回答ください。

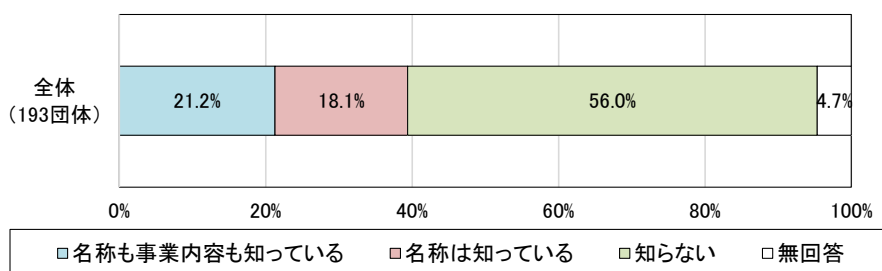
(1)アーツカウンシルみやざきの名称や事業内容をご存知ですか？(当てはまるもの1つに○)

全体では、半数以上の団体が「知らない」(56.0%)と回答している。なお、「名称も事業内容も知っている」の割合は21.2%となっている。

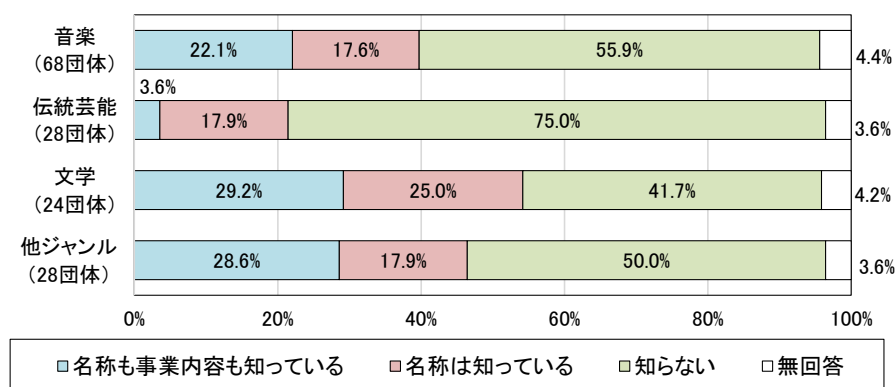
ジャンル別で見ると、「知らない」の割合は「伝統芸能」で最も高い(75.0%)状況にある。規模別と活動年数別では、全体とほぼ同じ傾向を示している。

拠点の所在地別で見ると、「知らない」の割合は「宮崎市以外に拠点がある」で高くなっている(64.7%)。なお、「名称も事業内容も知っている」の割合は、「宮崎市に拠点がある」(31.8%)が「宮崎市以外に拠点がある」(13.7%)を大きく上回っている。

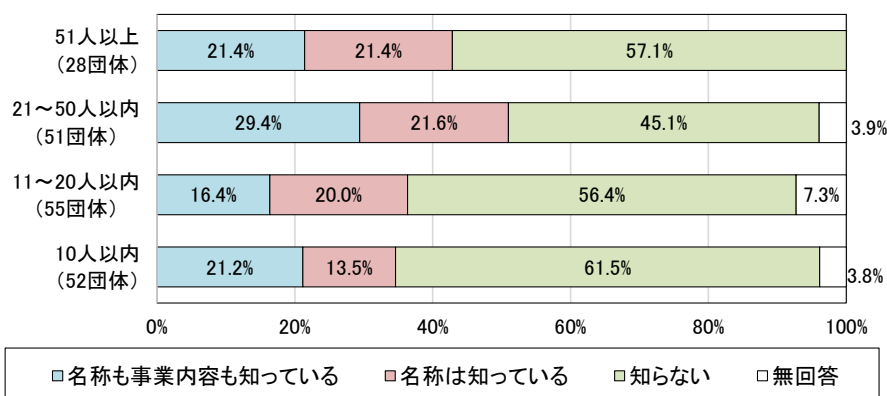
<全体>



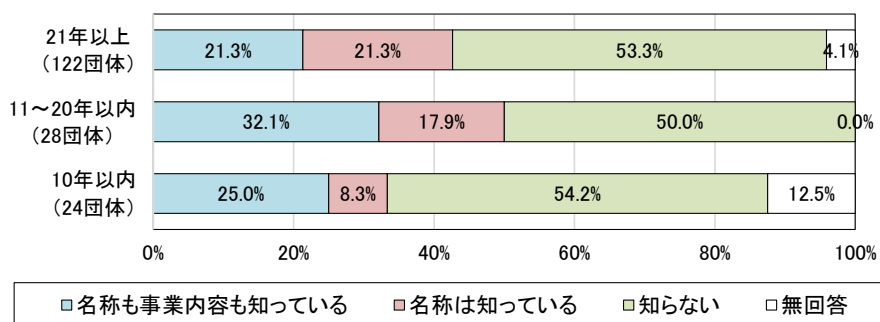
<ジャンル別>



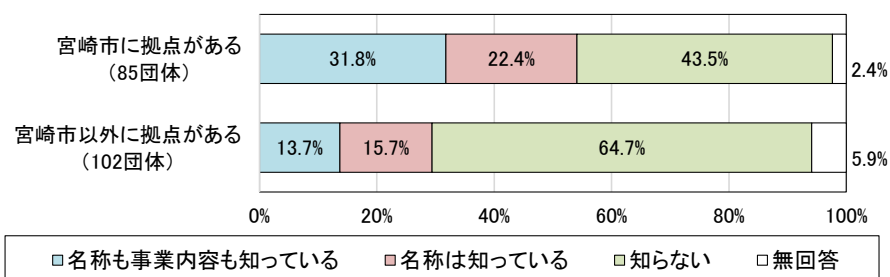
<規模別>



<活動年数別>



<拠点の所在地別>



(2) アーツカウンシルみやぎきの事業や取組に興味がありますか？(当てはまるもの1つに○)

全体では、約半数の団体が「事業内容に興味がある」(49.7%)と回答している。なお、「わからない」の割合は43.5%、「興味がない」は1.6%となっている。

アーツカウンシルみやぎきについての認知度別(P26 問4(1))でみると、アーツカウンシルみやぎきを「知らない」団体は、「わからない」の割合(60.2%)が最も高くなっている。

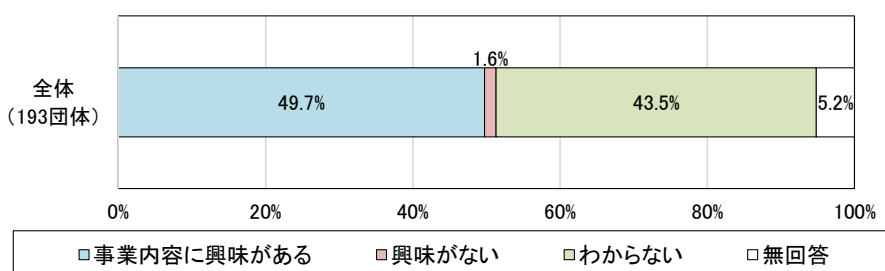
ジャンル別でみると、いずれのジャンルも「事業内容に興味がある」の割合は約半数となっている。

規模別でみると、「51人以上」だけが「事業内容に興味がある」の割合(39.3%)が全体(49.7%)を大きく下回っている。(10.4ポイント減)

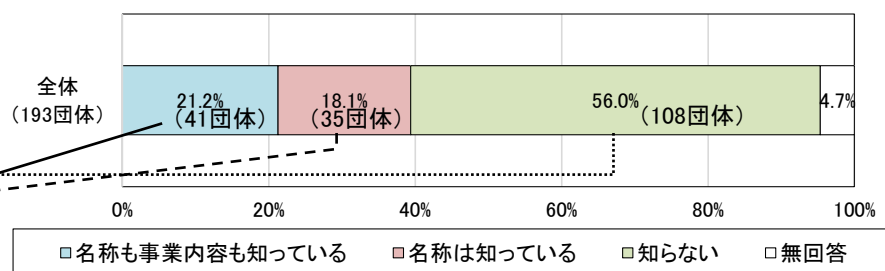
活動年数別でみると、活動年数が短い団体ほど「事業内容に興味がある」の割合が高くなる傾向にある。

拠点の所在地別では、「事業内容に興味がある」の割合は、「宮崎市に拠点がある」(58.8%)が「宮崎市以外に拠点がある」(43.1%)を15.7ポイント上回っている。

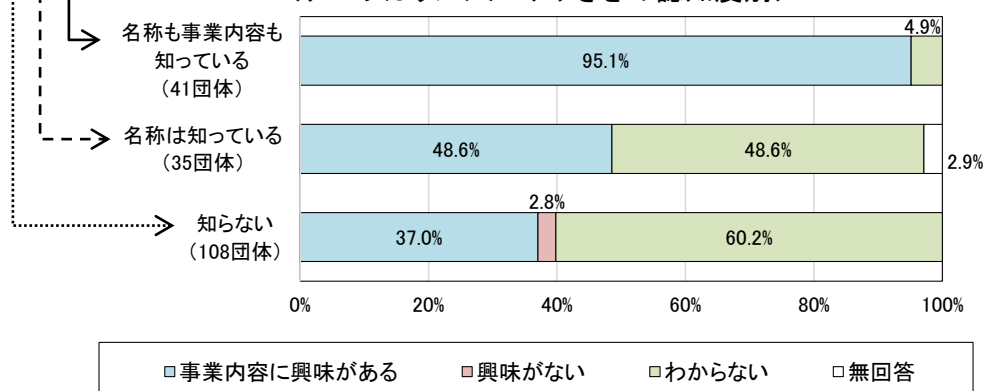
<全体>



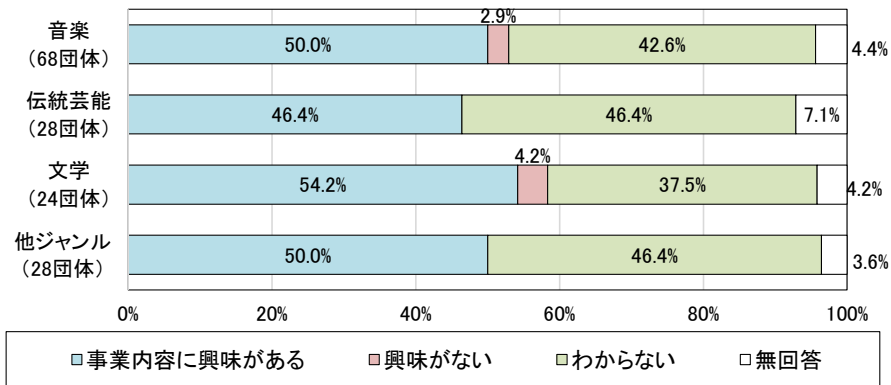
<アーツカウンシルみやぎきの認知度>(再掲P26)



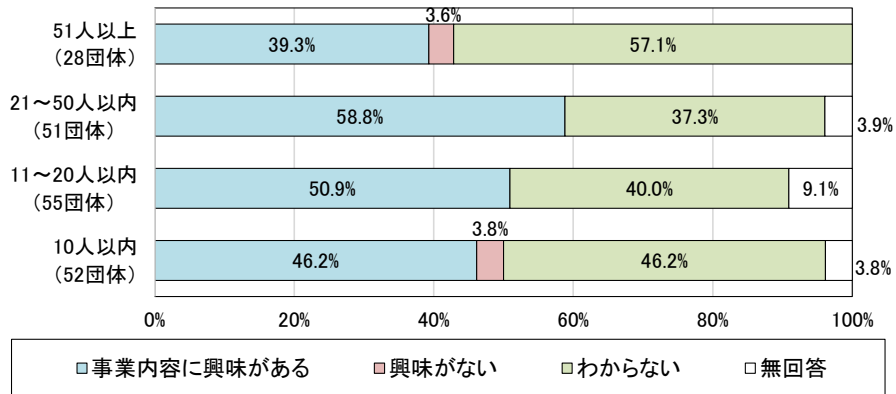
<アーツカウンシルみやぎきの認知度別>



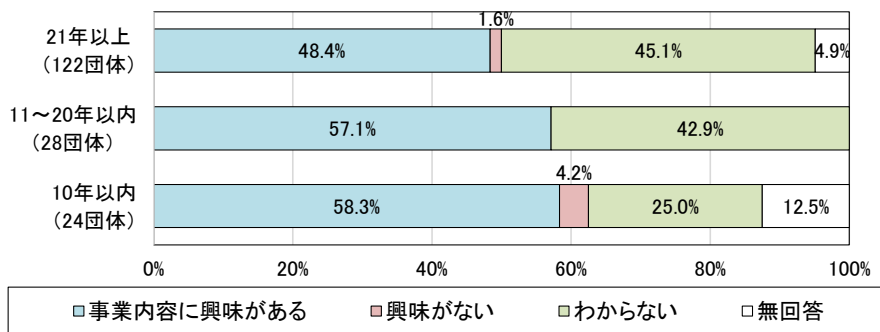
<ジャンル別>



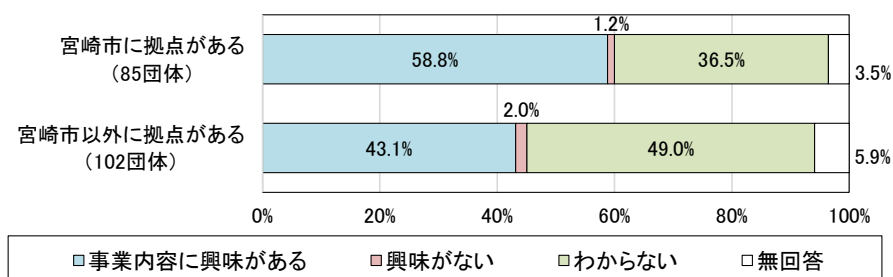
<規模別>



<活動年数別>



<拠点の所在地別>

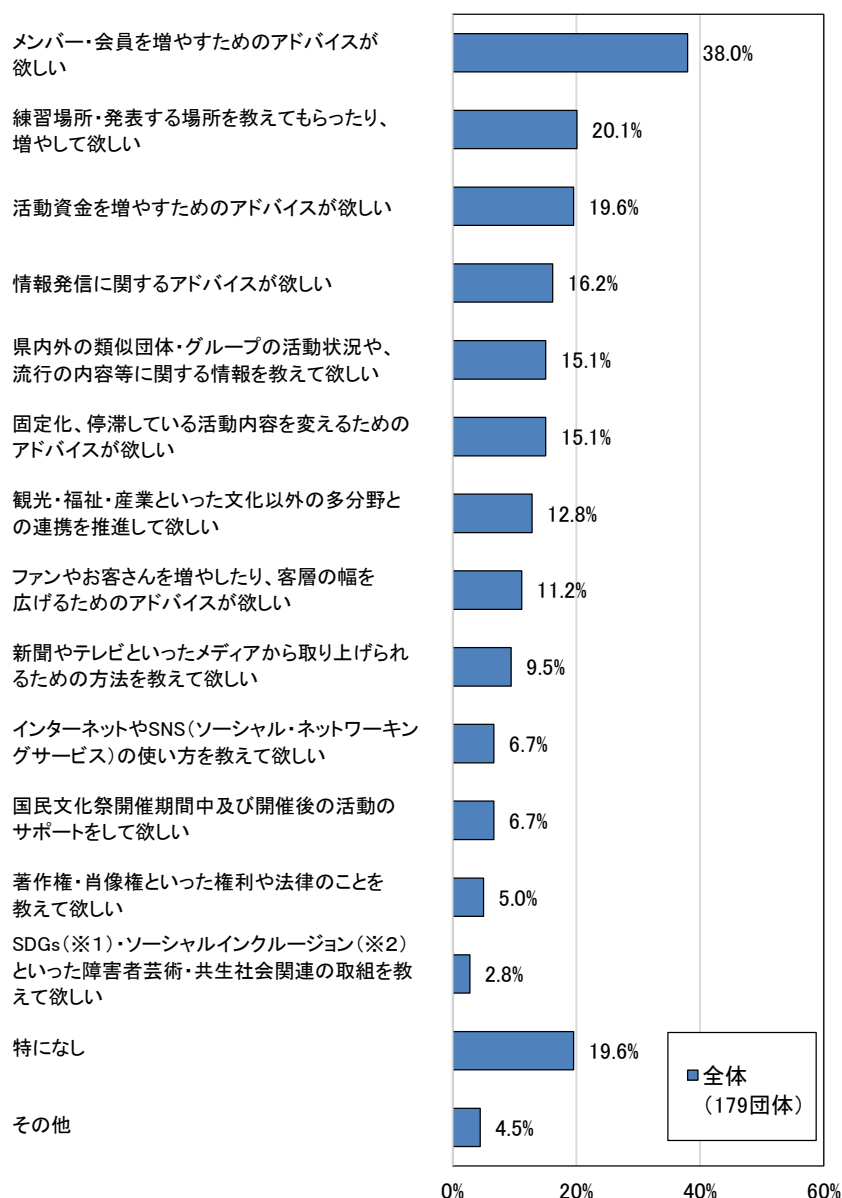


(3) 今後、貴団体がアーツカウンシルみやぎに期待するものはなんですか？

主に当てはまるもの3つ以内に○をしてください。

全体では、上位の項目は、第1位が「メンバー・会員を増やすためのアドバイスが欲しい」(38.0%)、第2位は「練習場所・発表する場所を教えてもらったり、増やして欲しい」(20.1%)、第3位は「活動資金を増やすためのアドバイスが欲しい」(19.6%)となっている。

<全体>



※1SDGs…Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略。よりよい世界の未来をつくるために2030年までに達成すべき課題を17のゴール(目標)として国連が定めている。

※2ソーシャルインクルージョン…障がい者、高齢者などの社会的弱者を排除・孤立させるのではなく、共に支え合い生活していこうという考え方。

ジャンル別でも、全体とほぼ同じになっている。

<ジャンル別>(上位の3項目)

	第1位	第2位	第3位
音楽 (68団体)	メンバー・会員を増やすためのアドバイスが欲しい	情報発信に関するアドバイスが欲しい	練習場所・発表する場所を教えてもらったり、増やして欲しい
	37.7%	21.3%	18.0%
伝統芸能 (28団体)	メンバー・会員を増やすためのアドバイスが欲しい	ファンやお客さんを増やしたり、客層の幅を広げるためのアドバイスが欲しい	練習場所・発表する場所を教えてもらったり、増やして欲しい
	56.0%	28.0%	24.0%
文学 (24団体)	メンバー・会員を増やすためのアドバイスが欲しい	特になし	固定化、停滞している活動内容を変えるためのアドバイスが欲しい
	47.8%	34.8%	26.1%
他ジャンル (28団体)	練習場所・発表する場所を教えてもらったり、増やして欲しい	メンバー・会員を増やすためのアドバイスが欲しい	-
	40.7%	29.6%	-

規模別でも、全体とほぼ同じになっている。

<規模別>(上位の3項目)

	第1位	第2位	第3位
51人以上 (27団体)	メンバー・会員を増やすためのアドバイスが欲しい	活動資金を増やすためのアドバイスが欲しい	-
	固定化、停滞している活動内容を変えるためのアドバイスが欲しい	情報発信に関するアドバイスが欲しい	
	33.3%	22.2%	-
21～50人以内 (48団体)	メンバー・会員を増やすためのアドバイスが欲しい	特になし	活動資金を増やすためのアドバイスが欲しい
	39.6%	20.8%	練習場所・発表する場所を教えてもらったり、増やして欲しい
			18.8%
21～50人以内 (51団体)	メンバー・会員を増やすためのアドバイスが欲しい	練習場所・発表する場所を教えてもらったり、増やして欲しい	活動資金を増やすためのアドバイスが欲しい
	47.1%	23.5%	21.6%
10人以内 (46団体)	メンバー・会員を増やすためのアドバイスが欲しい	特になし	情報発信に関するアドバイスが欲しい
	30.4%	23.9%	21.7%

活動年数別でも、全体とほぼ同じになっている。

＜活動年数別＞（上位の3項目）

	第1位	第2位	第3位
21年以上 (112団体)	メンバー・会員を増やすためのアドバイスが欲しい 37.5%	特になし 21.4%	活動資金を増やすためのアドバイスが欲しい 20.5%
11～20年以内 (27団体)	メンバー・会員を増やすためのアドバイスが欲しい 44.4%	情報発信に関するアドバイスが欲しい 25.9%	練習場所・発表する場所を教えてもらったり、増やして欲しい 22.2%
10年以内 (22団体)	練習場所・発表する場所を教えてもらったり、増やして欲しい	メンバー・会員を増やすためのアドバイスが欲しい	-
		活動資金を増やすためのアドバイスが欲しい	
		情報発信に関するアドバイスが欲しい	
		県内外の類似団体・グループの活動状況や、流行の内容等に関する情報を教えて欲しい	
		観光・福祉・産業といった文化以外の多分野との連携を推進して欲しい	
	36.4%	27.3%	-

